

授業科目	＊キリスト教と西南女学院のあゆみ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	神崎 明坤／東 彩子						
授業概要	本科目では、西南女学院の建学の精神である「感恩奉仕」の土台となる「聖書」の成り立ちと、旧約聖書の内容を学びます。旧約聖書の出来事や登場人物の紹介を通し聖書に基づく物の見方を養い、現代社会や学生自らが直面している人生の諸問題に対し、聖書的視点から解決していく力を培います。また、西南女学院を設立したアメリカ南部バプテスト派の宣教師の精神や働きについて学び、建学の精神に関する理解を深め、西南女学院生としての価値観を養います。						
授業形態	対面授業			授業方法	紙芝居・絵本・DVD 鑑賞等、視覚教材を取り入れ、五感を働かせながら聖書の内容を捉えていくと同時に、ディスカッションやグループワークを行います。		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	西南女学院の歴史を知ると共に、旧約聖書についての基礎的知識を身につけ、チャペルや教会訪問を通してキリスト教の価値観を学ぶことができる。 1. ユダヤ・キリスト教的価値観について理解を深め、「感恩奉仕」の土台となる愛の精神を知ることができる。 2. 旧約聖書の人物や出来事を通し、人生を歩む上での力を養うことができる。 3. チャペル出席や教会訪問を通し、キリスト教精神の源泉に触れることができる。						
理想的レベル	西南女学院の歴史を知ると共に、旧約聖書についての知識を自らの生活に生かすよう発展的に身につけ、チャペルや教会訪問の積極的な参加を通してキリスト教の価値観を身につけることができる。 1. ユダヤ・キリスト教的価値観について理解を深め、「感恩奉仕」の土台となる愛の精神を学ぶことができる。 2. 旧約聖書の人物や出来事を通し、神と自分、他者と自分、自分と自分についての関係性の土台を培い、人生を歩む上での力を養うことができる。 3. チャペル出席や教会訪問を通し、キリスト教精神の源泉に触れ、西南女学院生としての価値観を培うことができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法		評価割合（数値）			備考		
試験							
小テスト		15			0		
レポート		10			0		
発表（口頭、プレゼンテーション）							
レポート外の提出物		75			0		
その他							
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング							

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
予習・復習：関連する聖書箇所を読み、キーワードを調べた上、次週質問する疑問点や感想等を、ノートに記入する。									4
授業計画									
第1回	キリスト教学オリエンテーション 聖書の構成と「主の祈り」								
第2回	神の視点からみる「命」 天地創造／人間の創造／原罪と自由意思								
第3回	「罪」の結果と神の救済 カインとアベル／ノアの箱舟／バベルの塔								
第4回	西南女学院の歴史①建学の精神「感恩奉仕」と西南女学院（4/24 全学科チャペルにて合同）								
第5回	「信仰」と神の計画 アブラハム・イサク・ヤコブの族長物語								
第6回	「家族」の回復と神の計画 ヨセフ物語								
第7回	神に選ばれた民族のリーダー① イスラエル民族とモーセの十戒								
第8回	神に選ばれた民族のリーダー② 映像鑑賞「プリンス・オブ・エジプト」								
第9回	神に選ばれた民族のリーダー③ イスラエルの王、ダビデの生涯と信仰								
第10回	神に選ばれた民族のリーダー④ 旧約聖書の女性たち：ルツとエステル								
第11回	テーマ：旧約聖書の預言の成就 「Jesus」前編								
第12回	テーマ：旧約聖書の預言の成就 「Jesus」後編								
第13回	西南女学院の歴史②西南女学院創設者 J.H ロウの偉業（6/26 全学科チャペルにて合同）								
第14回	全体のまとめと小テスト								
第15回	西南女学院の歴史③初期の時代のアメリカ人女性宣教師たちの働き（7/10 全学科チャペルにて合同）								
テキスト	参考文献は授業中に提示します。また、授業中にプリントを配布します。								
参考図書・教材／データベース・	ポートフォリオについては、毎回回収し、翌週に返却します。								

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	キリスト教の学びは、授業のみならずチャペルアワーへの参加や教会訪問、自ら聖書を読むことなどの経験によって培われていきます。 日頃から聖書に親しみ、聖書から力をいただいでいきましょう。
学生への メッセー ジ・コメ ント	